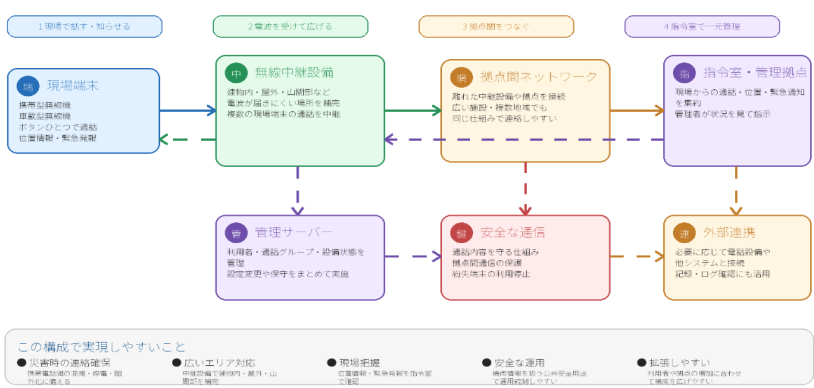


企業情報	企業・組織名	株式会社JVCケンウッド				業種	製造業/SI	
	Webサイト	https://www.jvckenwood.com/jp/ https://comms.kenwood.com/en/index.php https://www.efjohnson.com/home https://www.radioactivity-tlc.it/index.html						
技術・ソリューション	代表的技術名	業務用無線機・無線システム						
	本技術が貢献する領域	「質の高いインフラ」および「スマートシティ」						
	対象分野	道路・橋梁		港湾	該当する	空港	該当する	
		上下水道		発電・エネルギー		鉄道	該当する	
		住宅		情報通信技術	該当する	その他(自由記述)	警察・消防・救急	
	対象都市課題	交通・モビリティ		エネルギー		防災	該当する	
		インフラ維持管理		観光・地域活性化	該当する	健康・医療		
		農林水産業	該当する	環境	該当する	セキュリティ・見守り	該当する	
		物流	該当する	都市計画・整備	該当する	その他(自由記述)	警察・消防・救急	
	技術分類(キーワード)	業務用無線、自営通信網(災害対応、Public Safety、警察・消防・救急、自治体連携、携帯電話に依存しない通信、セキュア通信、秘匿性、情報統制、専用無線網、ミッションクリティカル通信)						
	技術の内容(概要)	業務用無線機・無線システムを活用し、携帯電話網に依存しない自営通信網を構築するソリューションです。特に警察・消防・救急などのPublic Safety分野では、現場情報、個人情報、指揮命令などの情報を扱うため、一般の携帯電話やスマートフォンを基幹通信として利用することは、セキュリティおよび情報統制の面で適しません。また災害時には携帯電話網の輻輳、停電、基地局障害、圏外化等により連絡が取りこくくなる場合があるため、秘匿性、可用性、運用統制を確保できる自営無線・専用無線網の確保が必須です。本ソリューションは、現場・自治体・警察・消防・救急などの関係機関における初動連絡、指揮命令、位置共有、緊急発報を補完します。港湾、空港、鉄道、発電・エネルギー、工場、農林水産、自治体・公共安全などの現場において、音声連絡に加え、GPS位置情報、簡易データ伝送、遠隔監視・制御を組み合わせ、現場の安全確保、業務効率化、インフラ維持管理を支援します。中継器の活用やIP回線・衛星通信等との連携により、山間部、広大な施設、通信不感地帯などでも必要な通信エリアを柔軟に確保できる点が特長です。						
	技術・ソリューション	この図は、業務用自営無線システムの基本構成を示したものです。 現場端末、無線中継設備、拠点間ネットワーク、指令室・管理拠点で構成されます。 現場端末は、携帯型または車載型の無線機で、音声通話、位置情報の送信、緊急発報に使用します。 現場端末から送信された無線通信は、無線中継設備で受信・再送信され、建物内、屋外、山間部など通信が届きにくいエリアを補完します。 複数の中継設備や拠点を接続することで、離れた施設や広いエリアでも同一の通信ネットワークとして運用できます。 これにより、現場職員、車両、管理拠点、指令室の間で、グループ単位の通話や一斉連絡が可能になります。 指令室・管理拠点では、現場からの通話、位置情報、緊急通知を集約し、状況確認や指示伝達を行います。 また、管理サーバーにより、利用者、通話グループ、設備状態、設定情報を管理し、日常運用や保守を支援します。 さらに、通信内容の保護、拠点間通信の保護、紛失端末の利用停止などにより、公共安全用途で求められる安全な運用にも対応します。 必要に応じて、電話設備や他システムとの連携、通信記録やログの確認にも活用できます。 この構成により、携帯電話網に依存せず、現場から指令室までをつなぐ自営通信ネットワークを構築できます。						

技術紹介図

業務用自営無線システム 構成図



技術の海外展開について

アジア	すでに展開している	アフリカ	すでに展開している	中東	すでに展開している	欧州	すでに展開している
ロシア	すでに展開している	オセアニア	すでに展開している	北米	すでに展開している	中南米	すでに展開している

